

専 門 分 野 II
母 性 看 護 学

母性看護学のねらい

母性看護学は、看護の対象である人間の性（セクシュアリティ）に焦点をあてた看護学である。おおきくは、ライフステージ、すなわち胎児期から乳幼児期・思春期・成熟期・更年期・老年期にある人々と、マタニティサイクル期にある人々を看護の対象にしている。人間が持つ親役割や性機能を十分に発揮し、個人の生命の充実と健康な家族の基となる命を守り育てていくための支援を学ぶ。

本来、性の発達は、生理的な経過をたどるが、様々な要因からわずかなことで問題を発生しやすい。現代は、性的な情報が氾濫し、年齢を問わず様々な情報が入手できる。子どもたちは、性的な身体の成長に、心の発達が追い付かず、性に対する問題を引き起こすことにもつながっている。また、諸外国に比較し我が国は人工妊娠中絶数が多く、中でも心身の未発達な十代の若者の人工妊娠中絶率や人工死産率が高い等の問題が生じている。さらに、高齢化や疾病や障害をかかえて生活する対象が多くなっている現在、これらの対象にも、セクシュアリティの視点を持ち看護する必要が高まっている。

昨今、働く女性の増加やライフスタイルの変化に伴い、出産年齢が高くなり、医療・看護が必要な妊産婦や新生児が増加する半面、リスクの高さや重労働から産科医・小児科医の減少による出産施設が減少し、安心して次世代を産み育てることが困難である。さらに、看護師は、看護の対象が入院や疾患、高齢化により発生する性の問題に対応する機会も多くなっている。このようなことから母性看護学では、性に関する学習の意義は大きい。

母性看護学では、「リプロダクティブヘルス/ライツ」の視点から人間の性をとらえた対象の特徴、母性・父性の概念や機能・役割、性差からみたウィメンズヘルス・メンズヘルス、ライフサイクル各期におけるセクシュアリティと看護、マタニティサイクル期の経過と看護について学ぶとともに、生命の尊重・性に関する人権や倫理・安全等について学んでいく。

「母性看護学概論」

母性看護学の学習を進めるうえで必要な基本的事項を理解することを目的とする。母性看護の概念、特徴、対象、および対象をとりまく社会の変化等について触れる。また、母性看護は生命の誕生に関与する看護学であることから、倫理的問題について考え生命や性に関する人権の尊重について学ぶ。さらに、胎児期から老年期の中でも性的な発達が顕著となる思春期から更年期を中心に、男女それぞれの特徴を理解し、それぞれの発達課題達成に向けての支援を学ぶ。

「妊婦・産婦の看護」・「褥婦・新生児の看護」

ここで取り上げる「マタニティサイクル期」とは、妊娠～産褥期、胎児・新生児期をいう。この時期にある対象の生理的変化とそれを促す看護を学ぶ。妊娠～産褥・新生児期は生理的変化ではあるが、

看護の視点でケアする必要度の高い時期である。問題志向型の看護過程では思考整理がしにくいいため、ウェルネスの視点でとらえた看護を学ぶ。また、新生児は母親との関係が深く、この時期の母子関係はその後の児の成長や家族の発達に大きく影響することから、母子相互作用を活用した看護を学ぶ。

「周産期にある人のハイリスク時の看護」

マタニティサイクル期にハイリスクな状況にある人、およびその正常経過を逸脱して現れる症状のメカニズムや治療・看護を学ぶ。

「母性看護学実習」

生理的経過をたどるマタニティサイクル期の母子の看護を中心に少ない時間で効果的に学習できるように学ぶ。しかし、臨床の場においてハイリスクな状況にある対象や性に関する看護は看護師に委ねられている現状を踏まえ、ハイリスクケースや家族発達支援、女性のライフステージに応じた支援も含めて学ぶ。

母性看護学

【目的】

人の持つ性の側面を含めて総合的に人間をとらえるとともに、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある母子とその家族に対する看護を実践できる基礎的能力を養う。

【目標】

- 1 人間の性と生殖の意義及び母性看護の役割が理解できる。
- 2 母性看護の対象となる人のライフサイクル各期の特徴と看護を理解できる。
- 3 妊娠・分娩・産褥期・新生児期にある母子とその家族の特徴を理解し、健康の維持・向上のための行動変容を促す支援活動が理解できる。
- 4 母性をとりまく保健・医療・福祉などの諸機関との連携の意義を理解し看護の役割が理解できる。

【構成および計画】

<講義>

科 目	単位数	時間数	学年別計画時間		
			1年	2年	3年
母性看護学概論	1	30	1(30)		
妊婦・産婦の看護	1	30		1(30)	
褥婦・新生児の看護	1	30		1(30)	
周産期にある人のハイリスク時の看護	1	15		1(15)	
合 計	4	105	1(30)	3(75)	

<臨地実習>

授業科目	実習内容	単位 (時間)	時 期
母性看護学実習	妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護	2 (90)	2～3年次
合 計		2 単位 90 時間	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
ライフサイクル各期における看護	14	<p>3 人間の性と生殖が理解できる</p> <p>ライフサイクル各期の男女の特徴と看護が理解できる</p>	<p>1 人間の性と生殖</p> <p>1) 人間の性の特徴</p> <p>2) 性に対する考え方の変遷</p> <p>3) セクシュアリティ</p> <p>1 ライフサイクル各期の男女の特徴と看護</p> <p>1) 胎児期</p> <p>2) 乳幼児期</p> <p>3) 思春期</p> <p>4) 成熟期</p> <p>5) 更年期</p> <p>6) 老年期</p> <p>2 ライフサイクル各期に及ぶ問題と看護</p> <p>1) 人工妊娠中絶</p> <p>2) 性感染症</p> <p>3) 性機能障害</p> <p>(1) 月経異常</p> <p>(2) 生殖器の疾患</p> <p>4) 出生前診断</p> <p>5) 性分化障害</p> <p>6) 性同一性障害</p> <p>7) 性暴力と看護</p>	
まとめ・試験	2			

科目 妊婦・産婦の看護 1単位 (30時間)

科目目標：1 妊娠の経過と看護について理解する
2 分娩の経過と看護について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
マタニティサイクル期の概念	2	マタニティサイクル期の看護の特徴が理解できる	1 マタニティサイクル期の看護 1) マタニティサイクル期とは 2) マタニティサイクル期の看護の特徴 3) マタニティサイクル期の看護過程の特徴	専任教員
妊娠の経過と看護	16④	1 妊娠の成立と正常な妊娠経過が理解できる 2 正常な妊娠経過を促すための看護に必要な知識が理解できる	1 妊娠期の正常経過 1) 妊娠の定義 2) 妊娠の成立 3) 妊娠による身体的変化 (全身・子宮・乳房・ホルモン) 4) 心理的变化と母子相互作用 5) 妊婦と家族及び社会 6) 胎児の発育及びその付属物 (1) 胎芽・胎児の成長と発達、生理 (2) 胎盤・臍帯・羊水・卵膜 2 妊婦・胎児の健康診査 1) 健康診査の目的と内容 2) 妊娠の診断法と予定日算法 3) 経過判定 (超音波・NST・胎盤機能検査) 1 妊婦の看護 1) 妊娠経過と保健相談 2) マイナートラブルと保健相談 3) 出産・育児の準備 2 妊婦の安全 3 妊婦の対象理解 1) 妊娠経過のアセスメント 校内実習 (4H) 1 妊婦体操・マタニティピクス (2H) 2 腹囲・子宮底測定 (2H) レオポルド触診法、胎児心音の聴取	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
分娩の経過と 看護	10②	<p>1 分娩の正常な経過 が理解できる</p> <p>2 正常な分娩経過を 促すための看護が理 解できる</p>	<p>1 分娩期の経過</p> <p>1) 分娩の定義</p> <p>2) 分娩の三要素 (産道、娩出力、胎児及びその付属物)</p> <p>3) 分娩の経過と分娩機転</p> <p>4) 分娩が母子に及ぼす影響</p> <p>5) 分娩各期の産婦及び家族の心理</p> <p>1 産婦の看護</p> <p>1) 分娩の経過と看護</p> <p>2) 産痛緩和</p> <p>2 産婦の安全</p> <p>3 産婦の対象把握</p> <p>1) 分娩経過のアセスメント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>校内実習 〈2H〉 産痛緩和法 (呼吸法・補助動作)</p> </div>	
まとめ・試験	2			

科目 産婦・新生児の看護 1単位 (30時間)

科目目標：1 産褥の経過と看護について理解する
2 新生児の経過と看護について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
産褥期の経過 と看護	18②	<p>1 正常な産褥の経過 が理解できる</p> <p>2 正常な産褥経過を 促すための看護が理 解できる</p> <p>3 家族関係形成への 援助が理解できる</p> <p>4 産褥の看護過程が 理解できる</p>	<p>1 産褥の生理と経過</p> <p>1) 産褥の定義</p> <p>2) 産婦の身体的変化 (全身、子宮、悪露、乳房、ホルモン)</p> <p>3) 産婦の心理的变化と母子相互作用</p> <p>4) 産婦の社会的変化</p> <p>1 産褥の看護と保健指導</p> <p>1) 分娩後 24 時間経過と看護</p> <p>2) 産褥復古促進への援助</p> <p>3) 母乳栄養確立への援助</p> <p>4) 母親役割獲得への援助</p> <p>5) 退院後の育児支援</p> <p>6) 産褥の安全</p> <p>1 家族の心理</p> <p>2 新しい家族形成への援助</p> <p>1 産褥の看護過程</p> <p>1) ウェルネスの概念</p> <p>2) ウェルネス看護診断</p> <p>3) マタニティ診断</p> <p>2 産褥のアセスメント</p> <p>1) 非妊時から産褥期までの情報整理</p> <p>2) 新生児に関する情報整理</p> <p>3) 解釈・分析</p> <p>4) 診断</p> <p>3 支援計画</p> <p>1) セルフケア能力を高めるための援助</p> <p>2) 母子関係確立を目指した援助</p> <p>3) 課題解決へ向けた援助</p> <p>4 評価</p>	専任教員
新生児の経過 と看護	10④	<p>1 新生児の生理が理 解できる</p>	<p>1 新生児の生理</p> <p>呼吸・循環・体温・消化器・肝臓・腎臓・ その他</p> <p>2 新生児の健康状態のアセスメント</p> <p>1) アプガースコア</p> <p>2) 分娩外傷の有無</p> <p>3) 外表奇形の有無</p> <p>4) 成熟度</p> <p>5) 胎外生活への適応状態</p> <p>6) 生理的变化</p>	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
		<p>2 新生児の胎外生活 適応へ向けた看護が 理解できる</p>	<p>1 出生直後の新生児の看護 2 早期新生児の日常生活援助</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 栄養 2) 排泄 3) 清潔 4) 愛護 <p>3 安全な保育環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 温度、湿度、照明 2) 窒息予防 3) 低体温予防 4) 熱傷予防 5) 転落予防 6) 感染予防 7) 取り違い予防 8) 連れ去り予防 <p>4 マスククリーニング</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>校内実習 〈6H〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 褥婦への援助技術 〈4H〉 <ol style="list-style-type: none"> 1) 全身状態の観察 2) 子宮復古状態の観察 子宮底輪状マッサージ 3) 乳房、乳頭、乳輪の観察 乳頭・乳輪部マッサージ 乳房の型にあわせた授乳方法 2 新生児への援助技術 〈2H〉 <ol style="list-style-type: none"> 1) 早期新生児の全身状態の観察 2) 沐浴 </div>	
まとめ・試験	2			

科目 周産期にある人のハイリスク時の看護 1単位 (15時間)

科目目標：1 ハイリスク妊・産・褥婦、新生児の状態と主な治療について理解する
2 ハイリスク妊・産・褥婦、新生児の看護について理解する

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある教員による授業
ハイリスク状態にある妊産褥婦の病態生理、治療	4	ハイリスク状態にある妊産褥婦の病態生理、治療が理解できる	1 ハイリスク妊娠 1) 定義、頻度、意義、スクリーニング 2) スクリーニング表とスクリーニング因子 2 妊娠期の異常と治療 1) 妊娠高血圧症候群 2) 不育症、流・早産 3) 妊娠糖尿病 3 分娩期の異常と治療 1) 前置胎盤、常位胎盤早期剥離 2) 前期破水 3) 胎児機能不全 4) 弛緩出血、頸管裂傷 5) 帝王切開術 4 産褥期の異常と治療 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱 3) 精神障害	医師
ハイリスク状態にある新生児の病態生理、治療	2	ハイリスク状態にある新生児の病態生理、治療が理解できる	1 新生児期の異常と治療 1) 新生児仮死 2) 分娩外傷 3) 早産児・低出生体重児 4) 新生児一過性多呼吸 5) 呼吸窮迫症候群 6) 胎便吸引症候群 7) 高ビリルビン血症 8) 新生児ビタミンK欠乏症	
ハイリスク状態にある妊産褥婦・新生児の看護	8	1 ハイリスク状態にある妊産褥婦・新生児の看護が理解できる 2 予期しない危機状況にある妊産褥婦の看護が理解できる	1 ハイリスク状態にある妊産褥婦・新生児の看護 1 予期しない危機状況にある妊産褥婦・新生児の看護 1) 先天異常、障害を持つ新生児の看護 2) 死産・障害を持つ新生児を出生した親の看護 3) 早期母子分離時の援助	専任教員
試験	1			